

R6開始

とめし

登米市(宮城県)

主な品目

- 水稲



実施体制

登米市、宮城県、みやぎ登米農業協同組合、新みやぎ農業協同組合、登米・気仙沼地域土地改良区連絡協議会、宮城県農業共済組合県北支所、有機農業取組農業者、道の駅連絡協議会、観光物産協会 等

面積情報

有機農業取組面積:149.3ha
耕地面積に占める割合:0.8%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

登米市は、人と環境に優しい環境保全型農業への先駆けした取組により、環境との調和を重視した持続可能な農業を推進しており、本市の強みである環境保全型農業の次のステップとして、更なる有機農業の拡大を図っている。これまでの農業者を中心とした取組により、生産から流通消費まで一定の自立した体系が築かれているが、次世代の人材確保と労力の軽減化対策等が急務となっている。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大

R6年度 152ha → R11年度 200ha

有機農業に取り組む農業者数の増加

R6年度 42人 → R11年度 50人

県内外へのPR活動 年2回以上

給食への有機米の提供 年2回以上

3 主な取組内容

生産

- 有機JAS認証等の認証取得経費の支援
- 先進地視察による新しい知見の獲得
- 新規に取り組む方や転換を実施する方への研修会の開催(今後実施予定)



先進地視察(秋田県大湯村・岩手県一関市)により新しい知見の獲得に努めた。

加工・流通・消費

- 市内外の食材イベント等でのPR活動
- 学校給食への有機米提供
- 市内の直売所等への有機農産物特設コーナーの設置による有機農産物の販売促進(今後実施予定)



市内外イベントへ出展し、有機米の試食を提供するとともに有機農産物に関するアンケート調査を実施した。



「有機農業の日(12月8日)」の特別期間に合わせ、市内幼稚園・小学校・中学校の学校給食へ有機米を提供し、有機食材への理解を深めた。

4 これまでの成果

市内外イベントや学校給食への有機米の提供を通じて、有機農業の魅力をPRした。

有機JAS認証取得を支援し、環境と調和する農業の推進と農産物の付加価値向上に努めた。

【有機JAS認証等取得支援】 R6年度 4件

【県内外へのPR活動】 R6年度 2回

【学校給食への有機米提供回数】 R6年度 1回

5 今後の展望

有機農業の購入を促進するためには、有機農業は環境負荷軽減につながることを消費者へ認知してもらうこと等が重要である。

今後は、消費需要拡大のためのPR活動を展開し、生産者の生産意欲に繋げるとともに、新規就農者の獲得をはじめ、慣行農業から有機農業への転換を推進することで、取組面積の拡大を目指す。

問い合わせ先

登米市産業経済部産業総務課 TEL:0220-34-2716